

サンガーデン便り

令和3年2月号



苫小牧市サンガーデン
〒053-0011
苫小牧市末広町3丁目1番15号
☎0144-33-4411

<館内の見どころ>

館内では、ジンチョウゲ（沈丁花）、晩生のツバキなどの花木、シンビジュウム、シクラメンなどの鉢花が咲いています。黄色い夏みかん、まだ小さなビワの実も鑑賞できます。

<2月の催しものの案内>

◎合格祈願の絵馬設置 合格の願いが成就するよう、後日樽前山神社へ奉納します。

◎ひな飾り 2月9日(火)から雛飾りを設置します。

<2月の園芸作業>

日照時間が少しずつ長くなり、陽ざしも強くなってきます。草花は窓辺に置き、丈夫に育てましょう。

☆鉢花・鉢植え花木 クンシランは花芽が確認できるまでは5~10℃で管理します。花が終わったツバキ、シャコバサボテンなどの鉢は、日の当たる涼しい所に移動し、水も控えめにして新葉が徒長しないように管理しましょう。シクラメン、プリムラ類など冬から春に咲く草花は、暑さが嫌いです。日中でも15~20℃のやや涼しい日当たりに置きましょう。傷んだ花や黄化した葉をこまめに摘み取り、液肥（1000倍）を1~2週に1回の目安で与えると、長く花を楽しめます。貯蔵中のダリアの球根を点検し、乾きすぎている場合は保護材料と球根に霧吹きし、水分の補給をします。

☆観葉植物 最低温度7℃以上を目安に管理します。冬季の室内は乾燥していますので、こまめに霧を吹くなどして空中湿度の保持にも努めます。肥料は必要ありません。室温が暖かく乾燥していると、カイガラムシやアブラムシが発生します。定期的に湿らせた雑巾で、害虫と汚れを拭きとってあげましょう。

☆洋ラン この時期はさまざまな種類のランが蕾（つぼみ）をつけ、花茎を伸ばし開花します。蕾をつけてから開花が終わるまでは水を切らさない様にします。また、蕾のふくらみが確認できたら、なるべく

日当たりの良い場所で管理し、日が差し込む方向に葉やバルブを向け、開花するまで動かさないようにします。ラン類は、冬は施肥を止め、春から秋の時期の新しい葉がでて草丈が伸びる成長期間だけ肥料を与えるようにします。

☆野菜 家族みんなで今年の栽培計画をたて、種子の手配などの準備を始めましょう。

☆果樹・庭木 2月下旬からウメ、リンゴ、サクランボの剪定を開始できます。花芽を残しながら枝葉を整理しましょう。サクラ、ナナカマド、モクレンなどは樹形の維持を目的とした整枝をしておきます。すでに樹液の上がっているモミジ・カエデ・シラカバや常緑針葉樹のイチイなどは春の剪定は行いません。今年のように降雪が少ないと土壌が深く凍結し、ロックガーデンなどの小さい花木は障害を受けやすくなります。排雪を株本に寄せ雪で保温してあげましょう。

<苫小牧の気象>

太平洋側の2月の天候は、寒波の影響を受けるため月の前半は気温がやや低くなる可能性があります。月全体ではやや低い~平年並みの気温と予報されています。また、晴れの日が多く、日照時間と降水量は平年並みの予報となっています。



令和2~3年苫小牧アメダス旬別気温の推移(破線は平年値)

